

2025年3月期

第2四半期 決算説明会

決算説明および成長戦略

※11/19公表分から資料を一部変更しております。

三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO兼CTO 米田 剛

2024年11月20日

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

1	2025年3月期 第2四半期業績	3
2	2025年3月期 通期見通し	5
3	国内事業戦略	10
4	海外事業戦略	19
5	Appendix	35

注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 2025年3月期 第2四半期業績

三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO兼CTO 米田 剛

<IFRS>	単位	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年 同期比	2025年3月期 2Q 計画	2025年3月期 通期計画
売上収益	億円	701	1,113	+412	807	2,570
営業利益	億円	98	124	+25	120	未定
営業利益率	%	14.1	11.2	△2.9	14.8	未定
税引前利益	億円	120※	135	+15	136	未定
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	88※	103	+14	101	未定
1株当たり当期利益	円	80※	93	+13	91	未定
配当	円	23	24	+1	24	55

概要

- ・国内は、ランドリー機器では前年第2四半期に大型案件があった影響もあり売上が減少した一方、食品機械の大型案件や、ボイラおよび船用機器で販売が堅調に推移したことで売上が増加
- ・海外は、Cleaver-Brooks社の買収により売上が増加、また、韓国におけるボイラ販売も堅調に推移
- ・国内、海外共に、メンテナンス事業は有償保守契約の増加により売上が増加
海外においてはCleaver-Brooks社買収によるメンテナンス売上も追加されている

※2024年3月期第3四半期連結会計期間において、持分法適用会社であるJENSEN-GROUP NVにおける持分法適用会社化に係る暫定的な会計処理が確定したため、2024年3月期第2四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

2. 2025年3月期 通期見通し

通期見通し 修正あり

	単位	2024年3月期	2025年3月期 計画	前年同期比
売上収益	億円	1,596	2,570	+974
営業利益	億円	230	未定	—
営業利益率	%	14.4	未定	—
税引前利益	億円	267	未定	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	億円	193	未定	—
1株当たり当期利益	円	175	未定	—

(単位:億円)

	売上収益			営業利益		
	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	増減	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	増減
国内機器販売	773	816	+43	75	83	+8
国内メンテナンス	414	435	+21	113	125	+12
海外機器販売	296	914	+618	28	未定	—
海外メンテナンス	111	405	+294	14	未定	—
合計	1,596	2,570	+974	230	未定	—

事業別 修正あり

(単位:億円)

	事業・地域	2024年3月期 実績	2025年3月期 当初計画	2025年3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減
国内	ボイラ	740	764	764	－
	アクア(水処理機器)	79	84	84	－
	船用	112	126	136	+10
	食機・メディカル	136	142	142	－
	その他(ランドリー・特機・新事業開発・環境等)	121	125	125	－
	国内計	1,188	1,241	1,251	+10
海外	米州	114	142	957	+815
	韓国	113	119	119	－
	中国	111	123	113	△10
	その他(ASEANほか)	70	130	130	－
	海外計	408	514	1,319	+805
合計		1,596	1,755	2,570	+815

※1 修正計画は第2四半期決算で使用した為替レートで算出しております。

通期見通し変更理由

地域	変更理由	
国内 (船用)	・海外向けボイラ販売の売上が増加	
米州	・当初公表時点では、買収したCleaver-Brooks社の業績を連結業績予想に含めていなかったが、当該買収を含めて算出した売上収益の見通しが明らかになったため（利益については、今後の見通しが明らかになった時点で速やかに公表する）	
中国	・景気低迷により、ボイラ販売台数が伸び悩み	

※詳細については2024年11月13日に第2四半期決算短信と併せて公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績値との差異等に関してのお知らせ」もご参照ください

事業別売上計画（3年間 ローリング方式）

修正あり

（単位：億円）

	事業・地域	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 当初計画	2025年 3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減	2026年 3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減	2027年 3月期 修正計画 ※1	修正計画 増減
国内	ボイラ	740	764	764	－	790	－	818	－
	アクア	79	84	84	－	89	－	95	－
	船用	112	126	136	+10	140	+18	144	+15
	食機・メディカル	136	142	142	－	148	－	154	－
	その他	121	125	125	－	137	－	149	－
	国内計	1,188	1,241	1,251	+10	1,304	+18	1,360	+15
海外	米州	114	142	957	+815	1,037	+880	1,077	+898
	韓国	113	119	119	－	134	－	145	－
	中国	111	123	113	△10	117	△13	122	△18
	その他(ASEAN ほか)	70	130	130	－	148	－	161	－
	海外計	408	514	1,319	+805	1,436	+867	1,505	+880
合計		1,596	1,755	2,570	+815	2,740	+885	2,865	+895

※1 修正計画は第2四半期決算で使用した為替レートで算出しております。

3. 国内事業戦略

国内事業戦略

トータルソリューションの深化【国内事業：経営基盤として安定成長】

国内事業 《成熟期》 国内において、主力製品であるボイラは、発電用市場を除く市場で約50%のシェアを保有しており、成熟された市場でいかに効率を上げて利益を向上できるかを考えるフェーズにある。

ボイラで培ったお客様との信頼関係をベースに
トータルソリューションとワンストップサービスの積極展開で事業領域拡大

◆ トータルソリューション

- ✓ユーティリティ領域からプロセス領域への製品・システム拡大
- ✓温熱から冷熱・空調へまで取扱い製品の拡大
- ✓省人化・自動化システムでお客様の人手不足に対応
- ✓単独事業機器ではなく、複数事業(他社製品含む)で最適なシステム提案

◆ ワンストップサービスの拡充

- ✓MIP(ミウラIoTプラットフォーム)を活用した効率的な工場全体の管理・運営・保全サポートサービスでお客様の業務量削減
- ✓お客様の負荷低減のためのワンストップサービスの実現

◆ CN商品開発(貫流ボイラの進化)

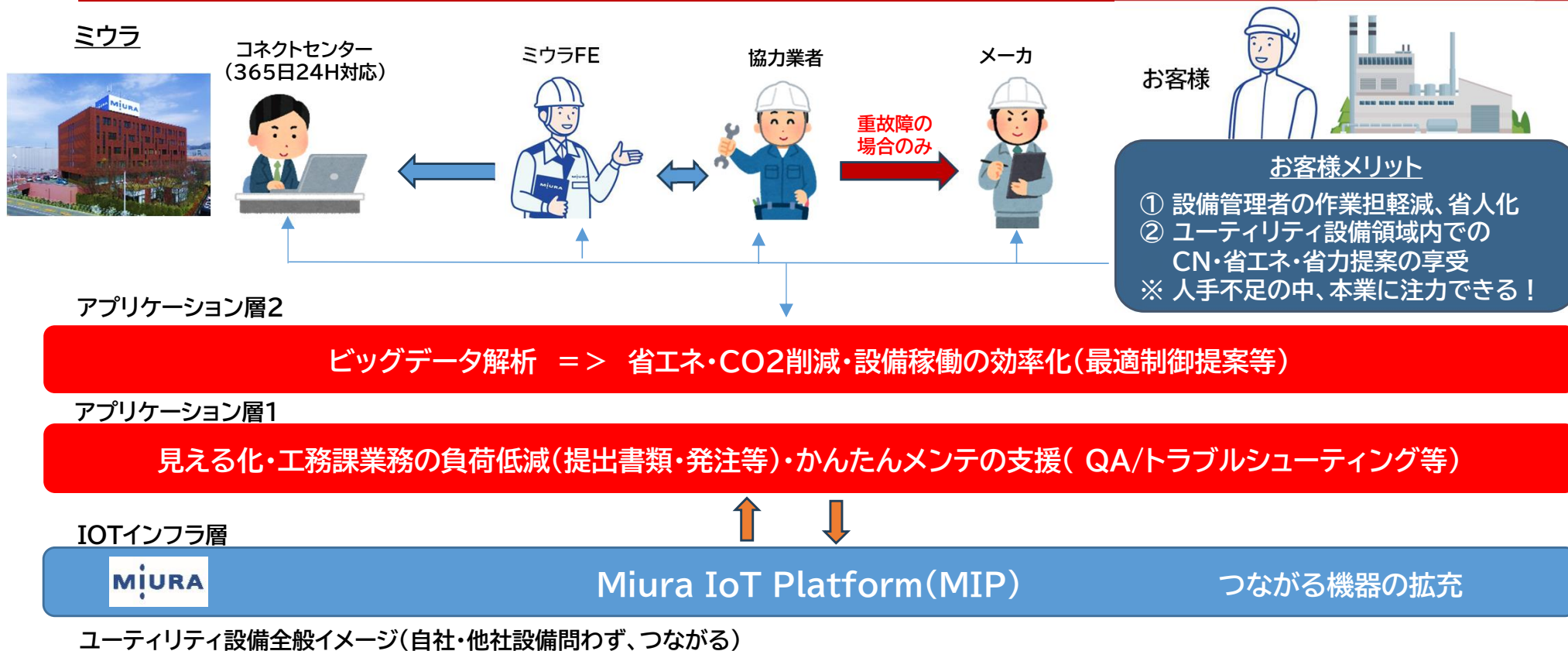
- ✓ボイラの新エネルギー全方位対応(水素・アンモニア・合成メタン・電気など)の製品供給体制の構築

◆ お客様へ最適な提案ができる知識やコミュニケーション能力をもつ人財の育成(熱ソムリエの育成)

ワンストップサービス

とにかくつながることから

ボイラで関係構築してきたお客様に、いつでも／どこでも／誰とでも、つながるミウラIoTプラットフォームを提供し、自社機器だけでなく、他社機器も含めた設備保全をワンストップサービスとして提供します。
また、MIPを通して蓄積されたビックデータを解析し、お客様工場の省エネ・CO2削減に向けたソリューションを提案します。



お客様メリット

- ① 設備管理者の作業担軽減、省人化
- ② ユーティリティ設備領域内での
CN・省エネ・省力提案の享受
- ※ 人手不足の中、本業に注力できる！

ビックデータ解析 => 省エネ・CO2削減・設備稼働の効率化(最適制御提案等)

見える化・工務課業務の負荷低減(提出書類・発注等)・かんたんメンテの支援(QA/トラブルシューティング等)

ボイラ



水処理



コンプレッサ



ヒートポンプ



受変電



発電機



空調



ミウラが目指すトータルソリューションの将来像

① 工場運営サポート

ミウラFE

協力業者

メーカー

ウェアラブル
(遠隔支援)

お客様



ユーティリティ設備の一括保守から始めて
生産設備一括保守にも段階的に挑戦！
今後著しい成長が見込まれるロボットのメンテナンス領域にも
チャンスが広がる。

③ 工場全体管理・保全サポート

オンラインメンテナンス

生産ラインや工場設備の
見守りと遠隔支援



④ ビックデータ解析

工場のあらゆるデータを解析
することで
ミウラが熱ソムリエとして、
工場全体最適の省エネ・CO2
削減・省人化に向けた
ソリューション提案。



ユーティリティ領域内の提案から
プロセス領域含む工場全体最適の提案に
繋げていく！

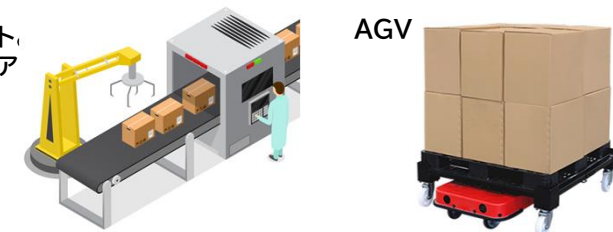
② お客様工場の製造DX伴走支援サービス

工場自動化・省人化の目線で、
コンサルティング～シミュレーション支援～
エンジニアリングまでをサービスとして提供。

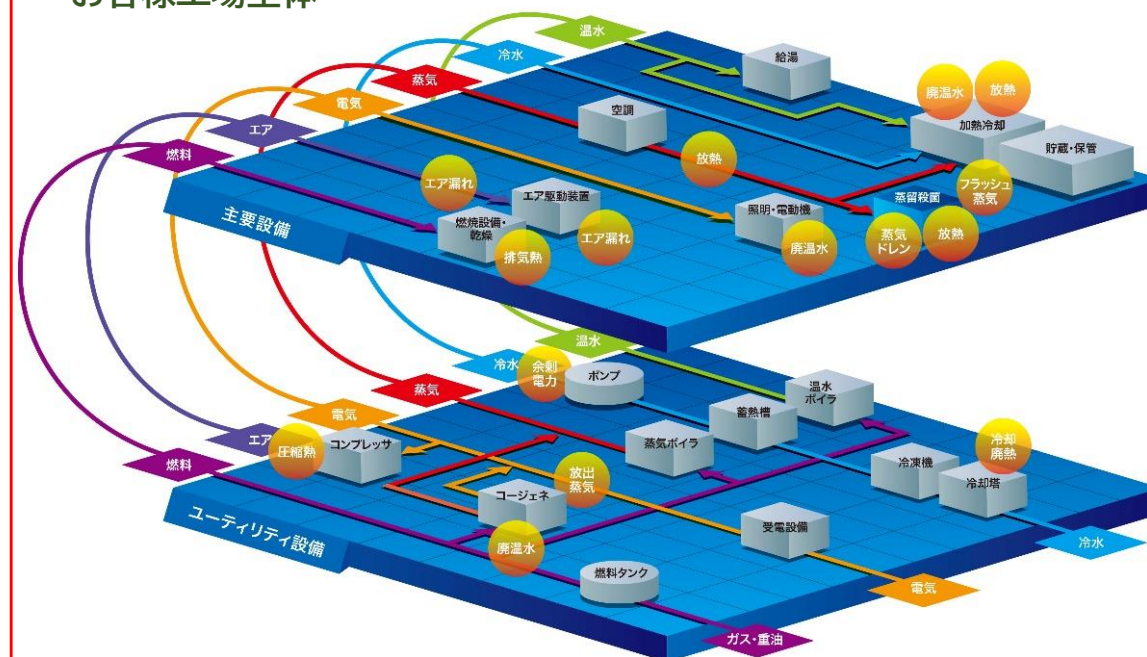
お客様の工場の
プロセス領域で活躍

ロボット
コンベア

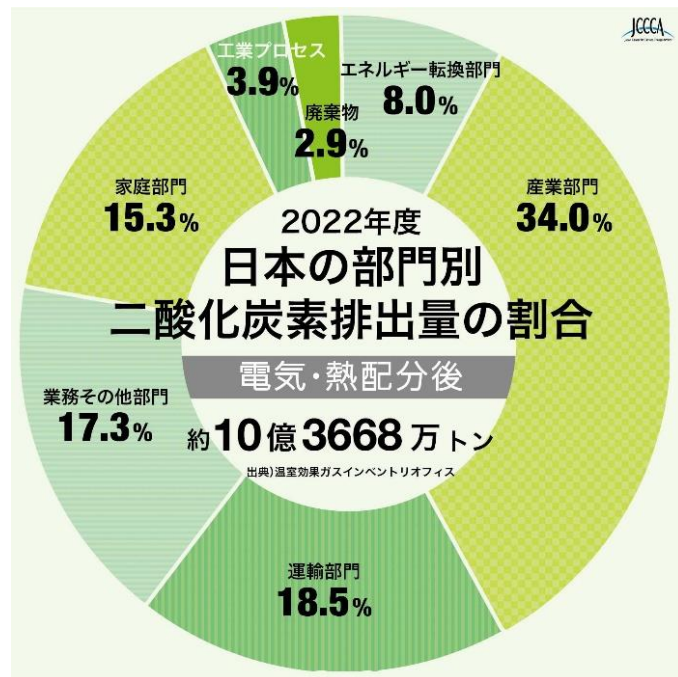
AGV



お客様工場全体

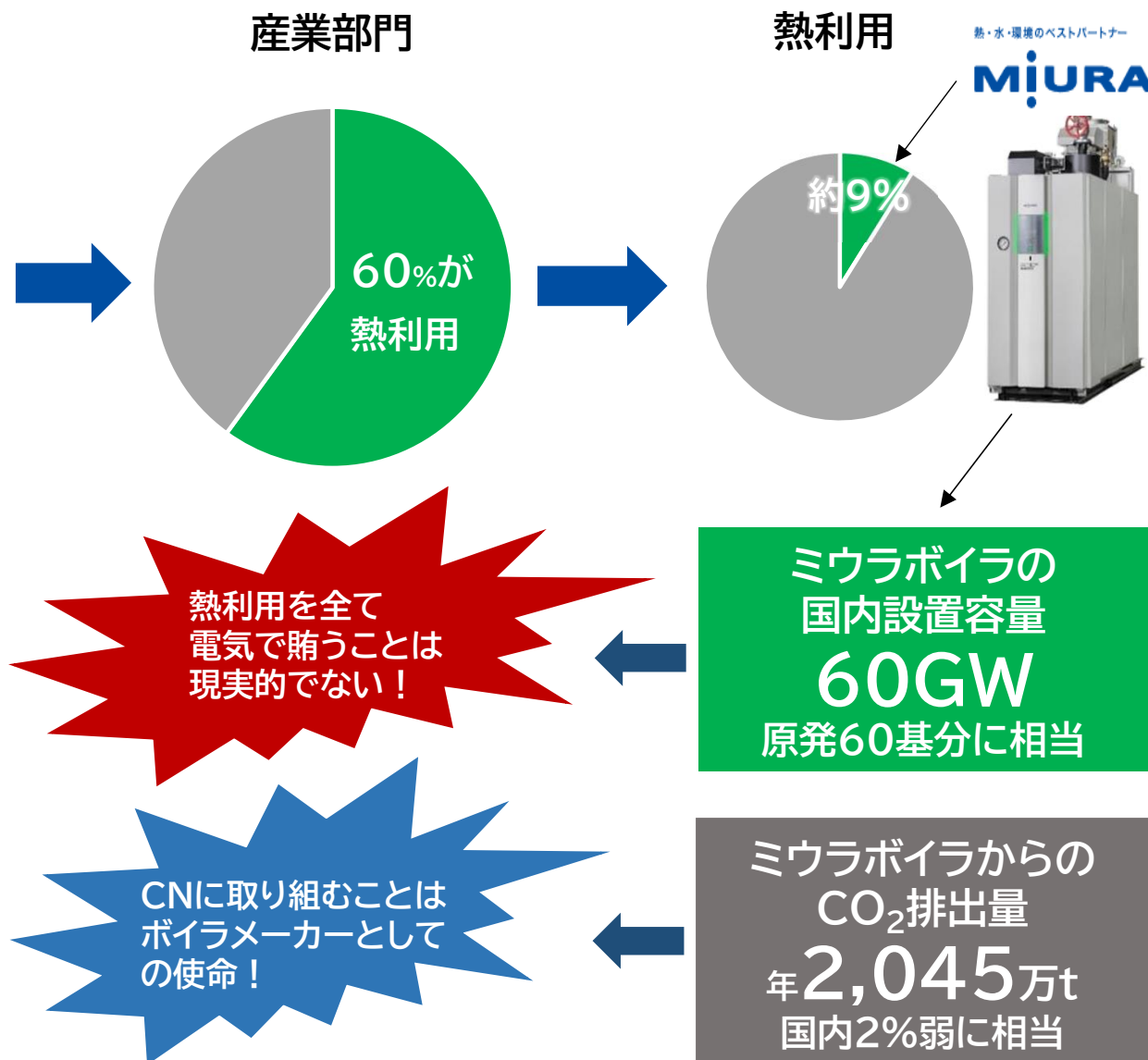


(現状分析) CNに向けて日本のエネルギー需要における熱の実態とミウラのポジション



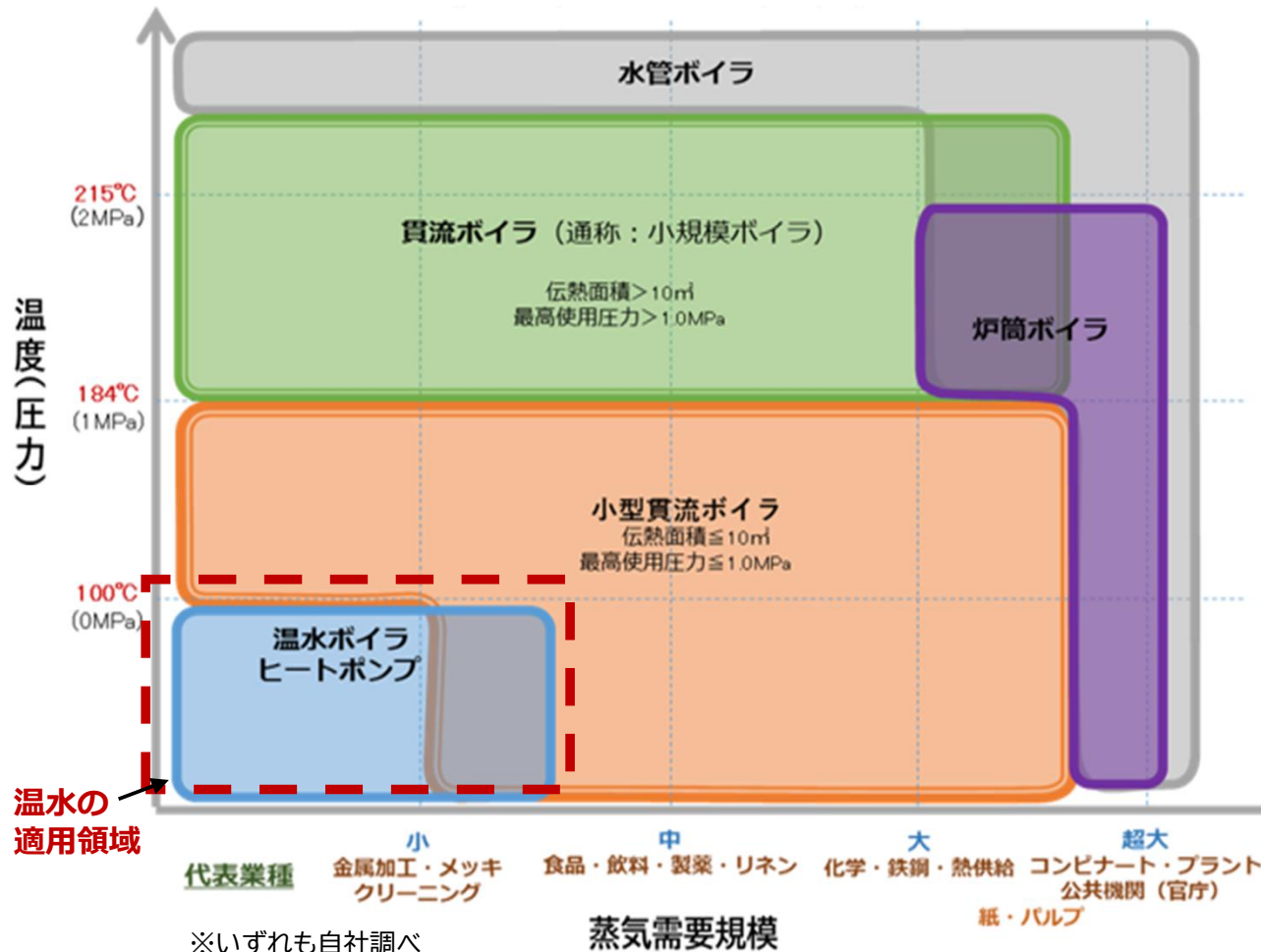
参考: 全国地球環境温暖化防止活動推進センターHP

- * 発電や熱の生産にともなう排出量を、
電力や熱の消費量に応じて
各部門に配分した後の数値です。



CNで蒸気ボイラはなくなっていくの？

《 日本における各種ボイラの適応領域 》



今後は蒸気の代わりに温水の広がり
が期待されているが …

但し、温水ボイラとヒートポンプの適用
温度帯は100°C迄、かつ小規模であり
日本の産業現場の熱需要に対応できる
領域は限定的である

今後も日本の産業現場の熱需要を支える
のは蒸気が主流である

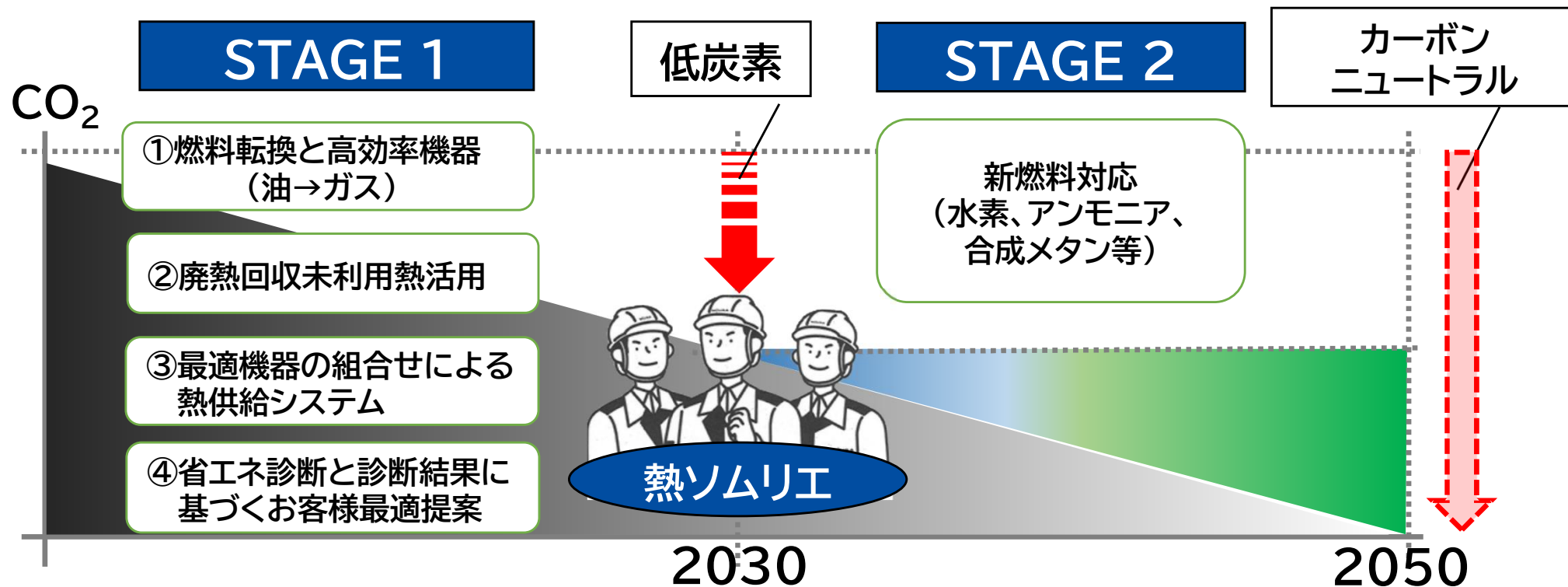
従って、蒸気ボイラはなくなる！
なくなっていくのは 化石燃料焚きの
蒸気ボイラで、グリーン燃料焚きの
蒸気ボイラに置き換わっていくだけ

勿論、ボイラシェアNo.1を誇るミウラの貫
流ボイラも将来はグリーン燃料焚きの蒸
気ボイラに転換を進めていきます！

- ・ 日本では貫流ボイラが多缶設置システムで炉筒煙管・水管ボイラのシェア獲得
- ・ 貫流ボイラのシェアが全体の約85%を占め、その内、ミウラが約60%のシェア獲得

(これから) CNに向けて着実に進む**ミウラのシナリオ**

ミウラは、お客様の**既存設備の活用**と**エネルギー転換の速度**のバランスを取りながら、中長期にSTAGE1,2の2段階で環境負荷低減への貢献を目指す!



ミウラでは社会インフラと経済合理性を考慮すると、
2030年度までにグリーンエネルギーへの大規模転換は難しいと認識

日本政府の目標



2030年度に
46%削減
(2013年比)



2050年までに
温室効果ガス排出を
実質ゼロにする

CN STAGE2 ミライに向けての新燃料対応 全方位型でのボイラ開発

ミウラはミライに向けて、水素ボイラをはじめ、アンモニア・合成メタンを燃料とした
全方位型でのボイラ開発に取り組んでいます！

新燃料への対応

新燃料インフラ

新燃料に対応した全方位型の
ボイラ開発
+
インフラ構築に対して、供給サイド
と需要サイドの架け橋として、
ボイラ向けの新燃料需要の予測に
も協力

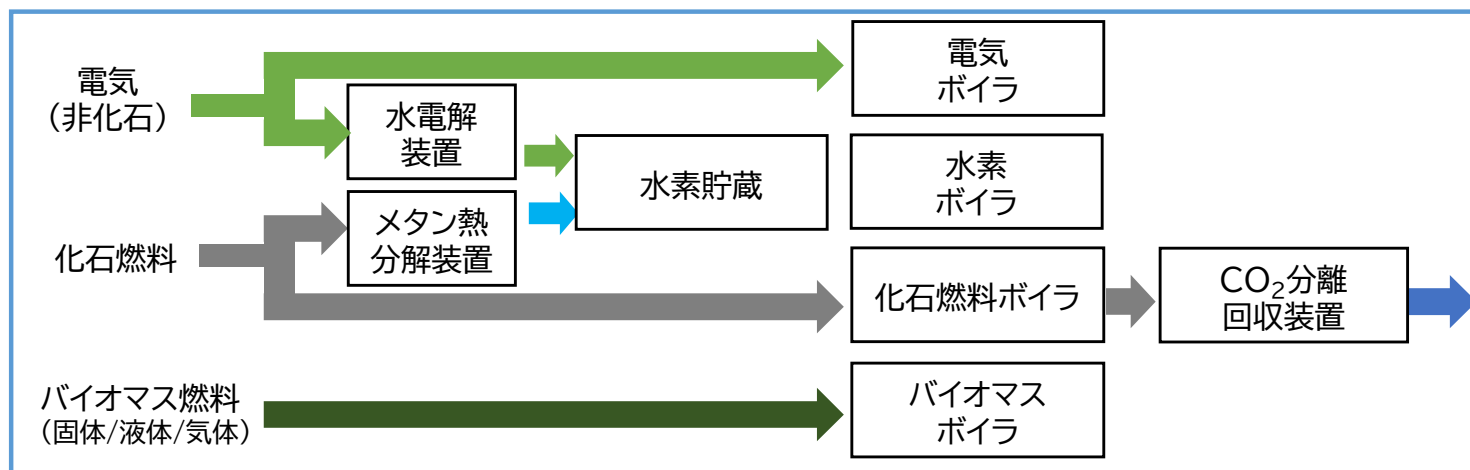
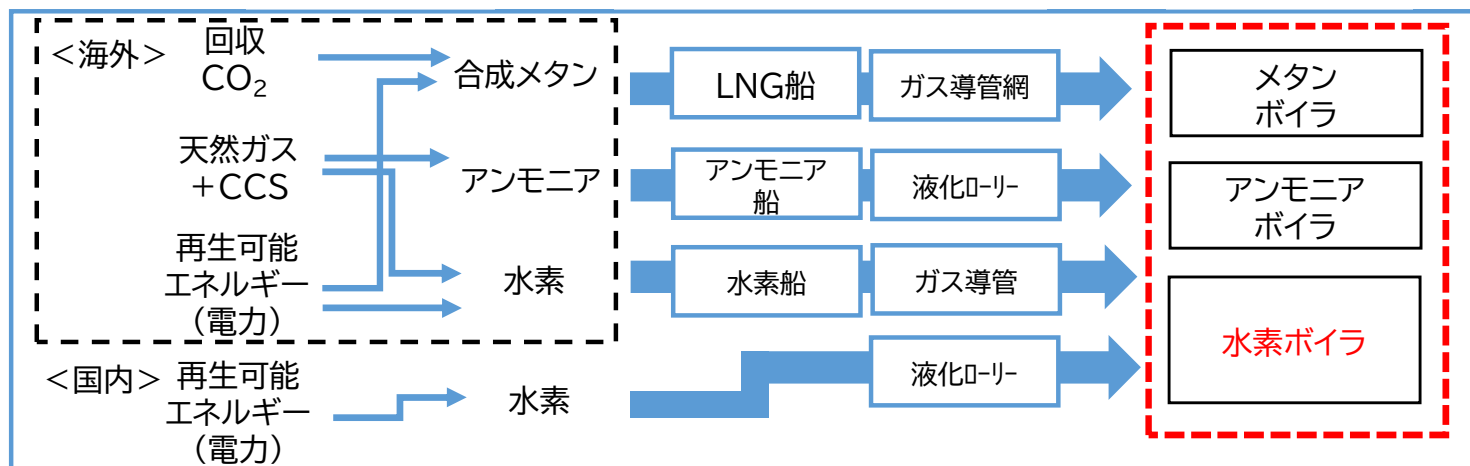
新燃料オンサイト

オンサイトでの低炭素・脱炭素の
新燃料の「作る・貯める・使う」
について積極的に参画予定

【作る】

【貯める・運ぶ】

【使う】



事業別売上 目標値

売上高	2023年度 実績	2024年度 業績予想	2025年度 計画	2026年度 計画
ボイラ	740	764	790	818
アクア(水処理機器)	79	84	89	95
舶用	112	136	140	144
食機・メディカル	136	142	148	154
その他(ランドリー・特機・新事業開発・環境等)	121	125	137	149
国内計	1,188	1,251	1,304	1,360
【ご参考】 アイナックス稲本含むランドリー	195	190	193	208

4. 海外事業戦略

海外戦略

グローバル市場での成長の加速 【海外事業：成長エンジン】

海外事業

《 成長加速初期 》

日本で培ったトータルソリューションを提供するには、先ずはお客様とのパイプを増強することが最優先。現時点では修理を中心とした状況であったとしても各市場の現状把握とアクセス形成が成長へのStep 1！

(GOAL) 各市場にマッチした熱のプロバイダーへの変革！

◆ 各ゾーンでボイラシェアNo.1を目指す

- ✓米州 ミウラアメリカとC-Bとの技術連携と販売ネットワークの整理
- ✓欧州 CERTUSSを利用しての貫流・炉筒の販売開始
- ✓中国 低性能他社ガスボイラの効率化の促進
新商品投入(C-B関連等)によるターゲット市場の拡大
- ✓韓国・台湾他 トータルソリューションへの事業領域移行

◆ 未進出エリアへの進出

- ✓インド市場など

➡ボイラでの確固たるお客様との関係をベースに、先ずは保守関連をスタートに提案項目増加を実態に合わせて展開

ボイラシェア拡大で、お客様との繋がりを増強し収益拡大

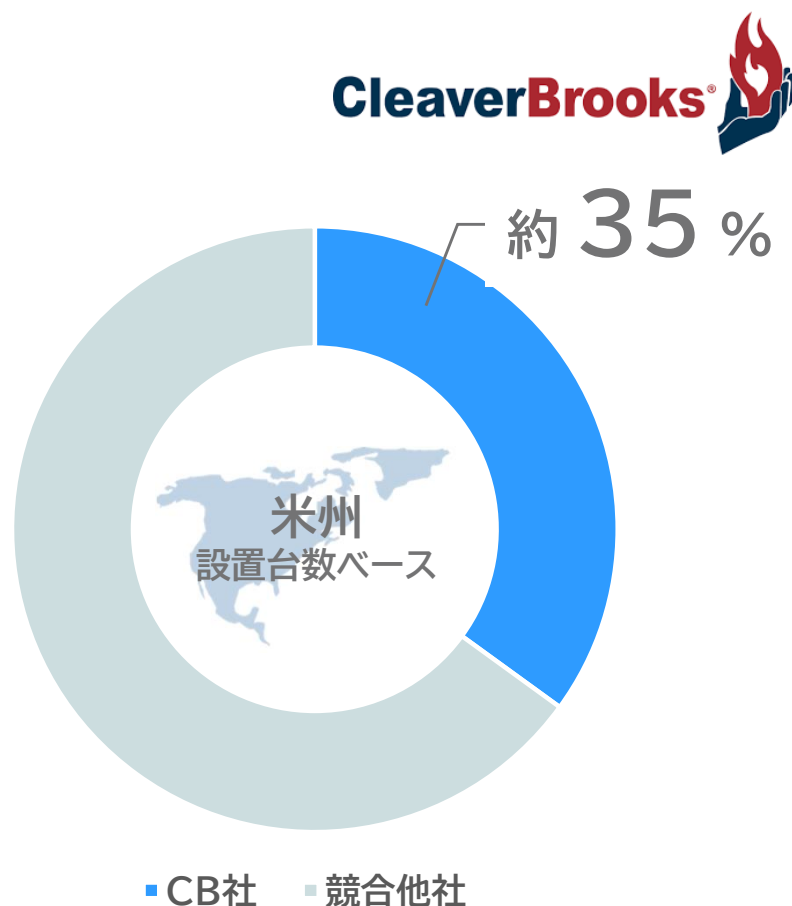
重点戦略

北米エリア事業強化

2024年5月にグループ化を実施したCleaver-Brooks社でスムーズな経営理念の共有をしながら従前の**安定経営**をベースにミウラグループの特徴を加味した更なる**付加価値向上**を図る。

Cleaver-Brooksの静的シェア(2023年度)

北米産業用ボイラ市場環境



※自社調べ(給湯器を除く)

(経済環境)

米国鉱工業生産の短期的トレンドは基本的に横ばい。今後穏やかな上昇につながる可能性があるが、各業界はそれほど好調ではない。

(追い風)

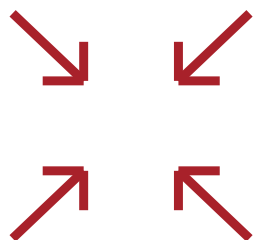
- ・製造業のオンショアリング増加
- ・連邦政府の投資拡大
- ・サステナビリティへの関心の高まり

(逆風)

- ・政権交代による不確実性(短期的と想定)
- ・高金利による投資抑制
- ・特定都市(カリフォルニア・ボストン等)で環境法規制整備待ちによる設備投資の先送り



会社名	The Cleaver-Brooks Company, Inc.	従業員数	1,391名（2024年9月30日現在）
設立年	1931年	主要拠点	アメリカ 7拠点 カナダ 2拠点 メキシコ 1拠点
所在地	Georgia, USA	事業内容	ボイラおよび関連製品の製造・販売
主要取締役	宮内 大介 (Chairperson) Bart A. Aitken (President・CEO)		



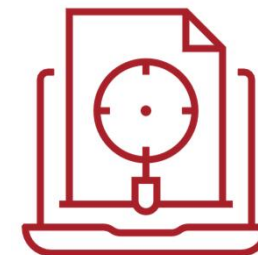
経営・事業基盤

- 100年以上の歴史、経験豊富な経営陣に支えられ、70,000台以上の稼働中ボイラを有する広範な設置基盤を確立



販売チャネル

- 25以上の市場エリアで4,500以上の顧客を擁する
- 23年度最大の顧客は売上の僅か5%未満



技術力・開発力

- 豊富なR&Dリソース・機械設備エンジニアリングにより、顧客の燃料消費量・排出量の削減に寄与
- 売上高の約3割は過去7年間に開発された商品から創出される

一般施設用、業務用、産業用の効率的なボイラシステムとサービスを提供する グローバル・リーディング・プロバイダー

		一般施設用	業務用	軽工業用	工業用	補完製品
主要指標	生産割合	温水 (45%)				 \$10 - 120K (価格帯) 制御・監視装置
	主要単価	蒸気 (55%)				
	容量 (MMBTU)	\$20~30,000	\$40~50,000	\$120~150,000	\$300,000~	
市場		 教育機関	 医療機関	 大学等の高等教育機関	 食品・飲料分野	 \$10 - 80K (価格帯) 熱回収装置
		 商業施設	 政府機関	 製薬・バイオ分野	 半導体製造分野	
主要製品		 業務用 コンデンシングボイラ	 電気ボイラ	 大容量 コンデンシングボイラ	 煙管ボイラ  水管ボイラ	 \$20 - 120K (価格帯) 水処理装置

機器販売

リカーリングなソリューション・サービス

Packaged Boilers
ボイラおよび
関連機器等

Engineered Systems
工業用水管ボイラ

Asset Lifecycle Management
部品・消耗品等

Boiler Services
修理・据付・レンタル

主要商品(例)



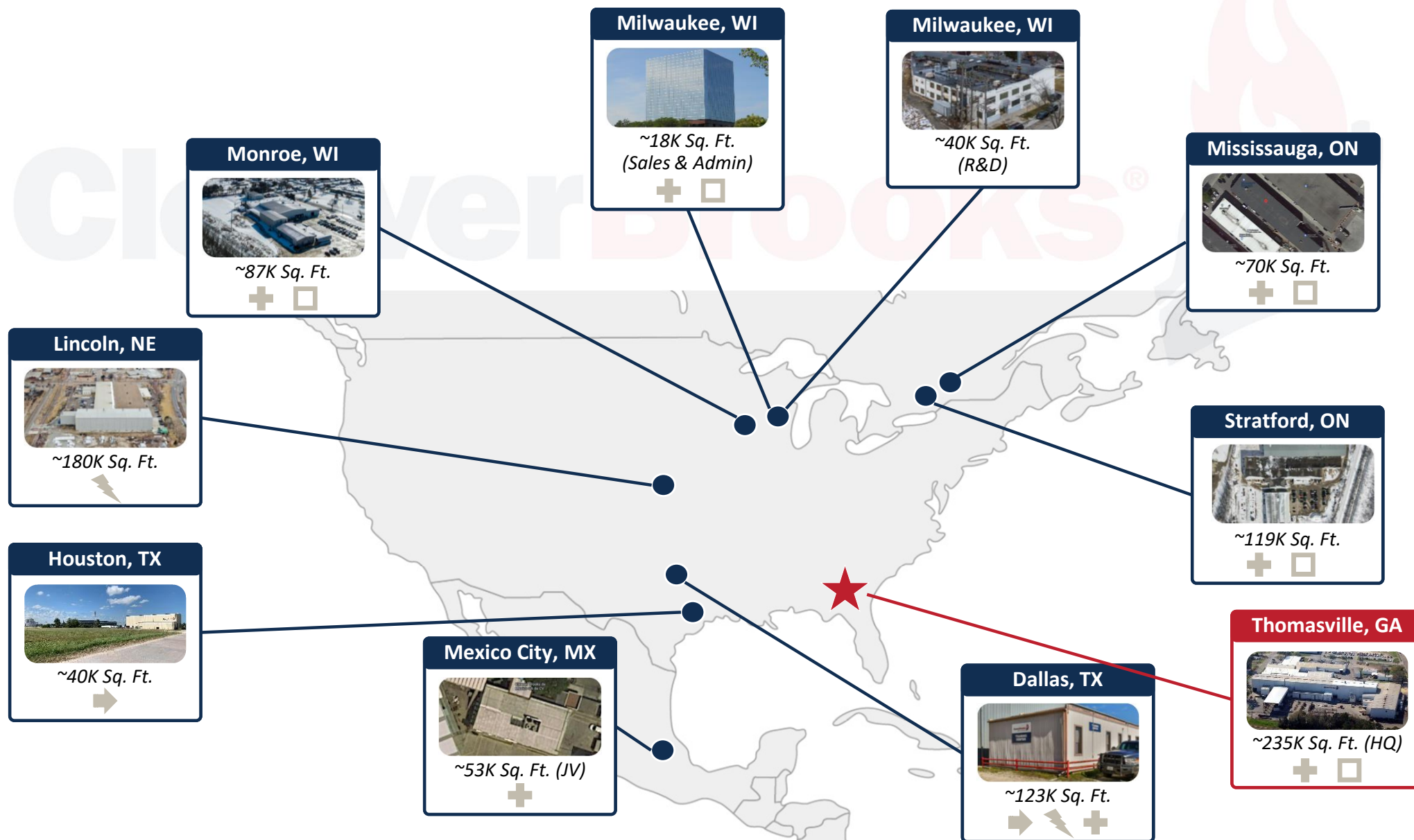
2023年度
売上構成比

50%

13%

16%

21%



Key



Packaged Boilers



Engineered Systems



Asset Lifecycle Management



Boiler Services

◆C-Bは、ダントツの競争優位性を持つ業界最大の代理店販売網で市場での強固な地位を確保

- ー3つのブランド
Camusブランド：温水ボイラ
Industrial Combustion ブランド：バーナー等の他社向け燃焼機器
C-Bブランド：全体のOEM売上の90%以上のメインブランド
- ー150以上のC-B専属の代理店組織を通して、50超の国や地域へ製品・ソリューション・サービス等をエンドユーザーへ提供
- ーC-Bの代理店組織は、世界に116あり、2200名以上の販売店のセールスパーソンによる販売を実行

◆Cleaver-Brooks Representative Association (CBRA)

- ー独立系のボイラ販売・サービス代理店で構成される業界最大の組織
- ー36の代理店組織から構成されており、カナダとアメリカを主な拠点として活動
- ー国内で最も技術的に優れた営業担当者であり、顧客に最も効率的なサステナビリティ志向のソリューションを提供
- ー販売テクニックや技術情報の最新情報のような商売上のベストプラクティスを提供するフォーラムを開催

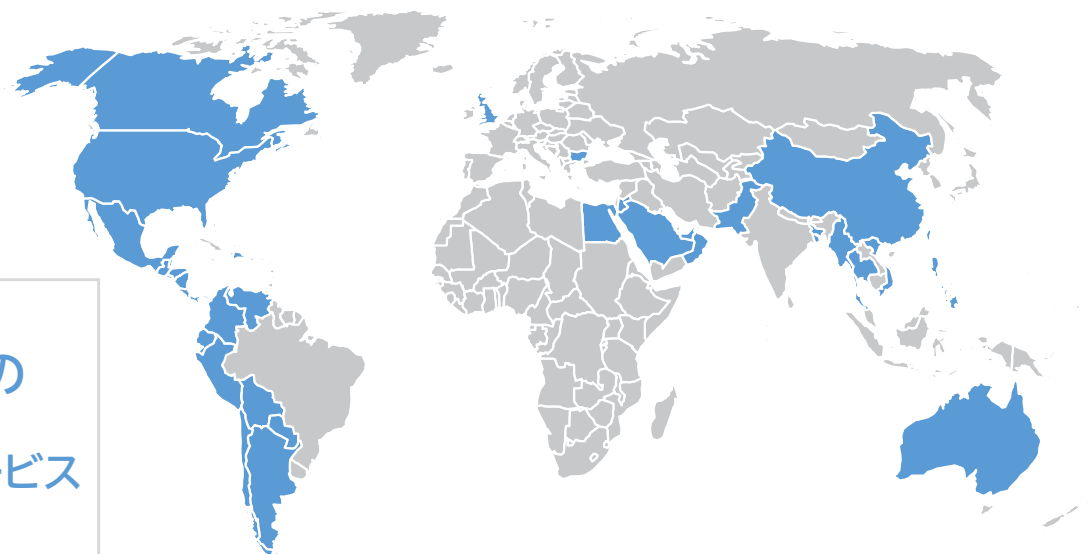


KEY STATS

約150
代表的な代理店組織

CBRAの収益の
約50%が
C-B製品およびサービス

広大かつグローバルな代理店網



概要

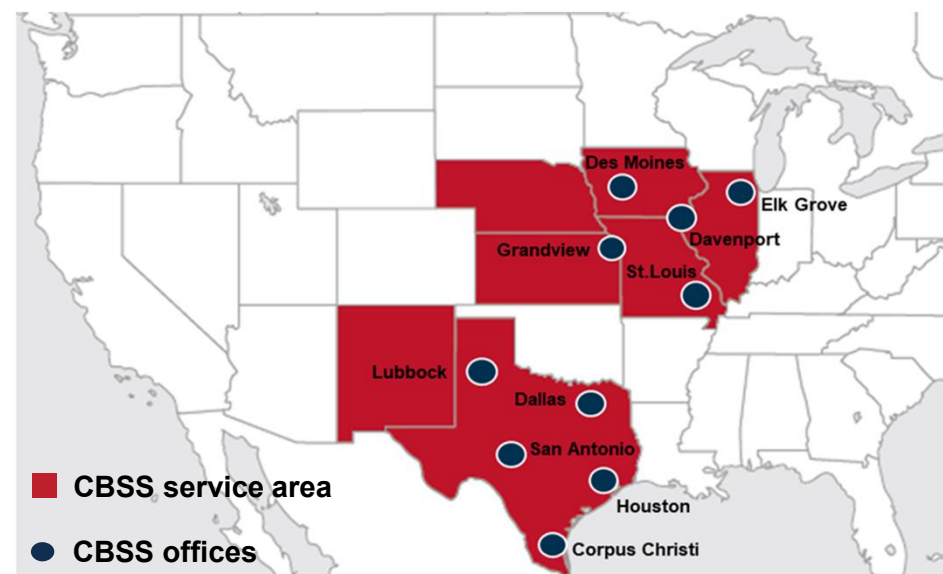
- ◆Cleaver-Brooks Sales and Service (CBSS) は、2014年に代理店組織CBRAの一員であった Holman Boilerと競合他社であるAffiliated Power Servicesを合併させてグループ化した会社です。
- ◆120人以上のサービスエンジニアが、エンジニアリング、据付工事、計画的/緊急的な修理サービスおよび大型プロジェクトを一手に手掛けています。
- ◆2023年度より計画的なメンテナンスプログラムに重点を置いています。
- ◆Cleaver-Brooksが独自に開発した設置済みボイラのデータベースであるStackChaserを積極的に活用し、サービスの成長を促進しています。
- ◆15HPから800HPまでの70台以上のボイラーを含む レンタル用機器により収益UPにつなげます。

KEY STATS

約20%
2023年度 C-B社売上高

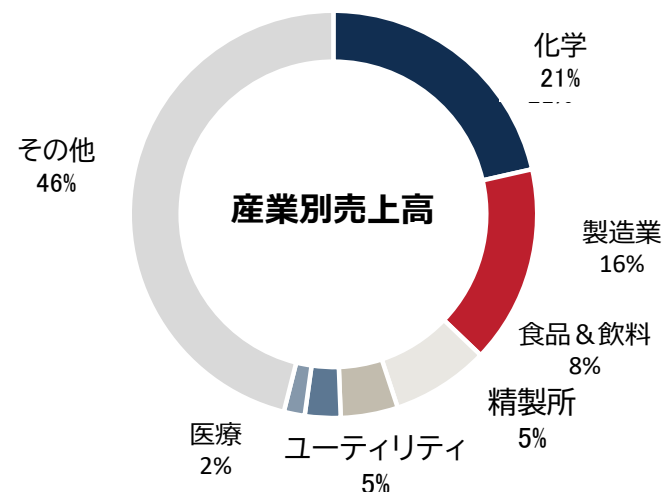
330
従業員数

サービス提供地域



売上構成(産業別)

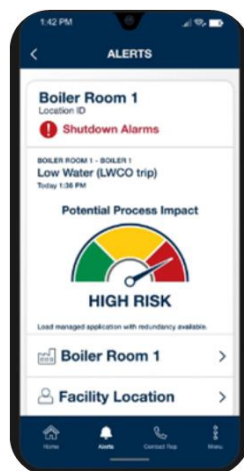
(FY 2023)



PROMETHA の概要

- ◆ボイラのオペレーターが重要な指標にリアルタイムでアクセスできるリモートIoTソリューション。
- ◆IoTと機械学習技術をボイラー室に適用、200以上のデータポイントを監視
- ◆ダッシュボードは、あらゆる電話やコンピュータからアクセス可能
- ◆既存のボイラセンサーを考慮して設計された「プラグアンドプレイ」技術を搭載

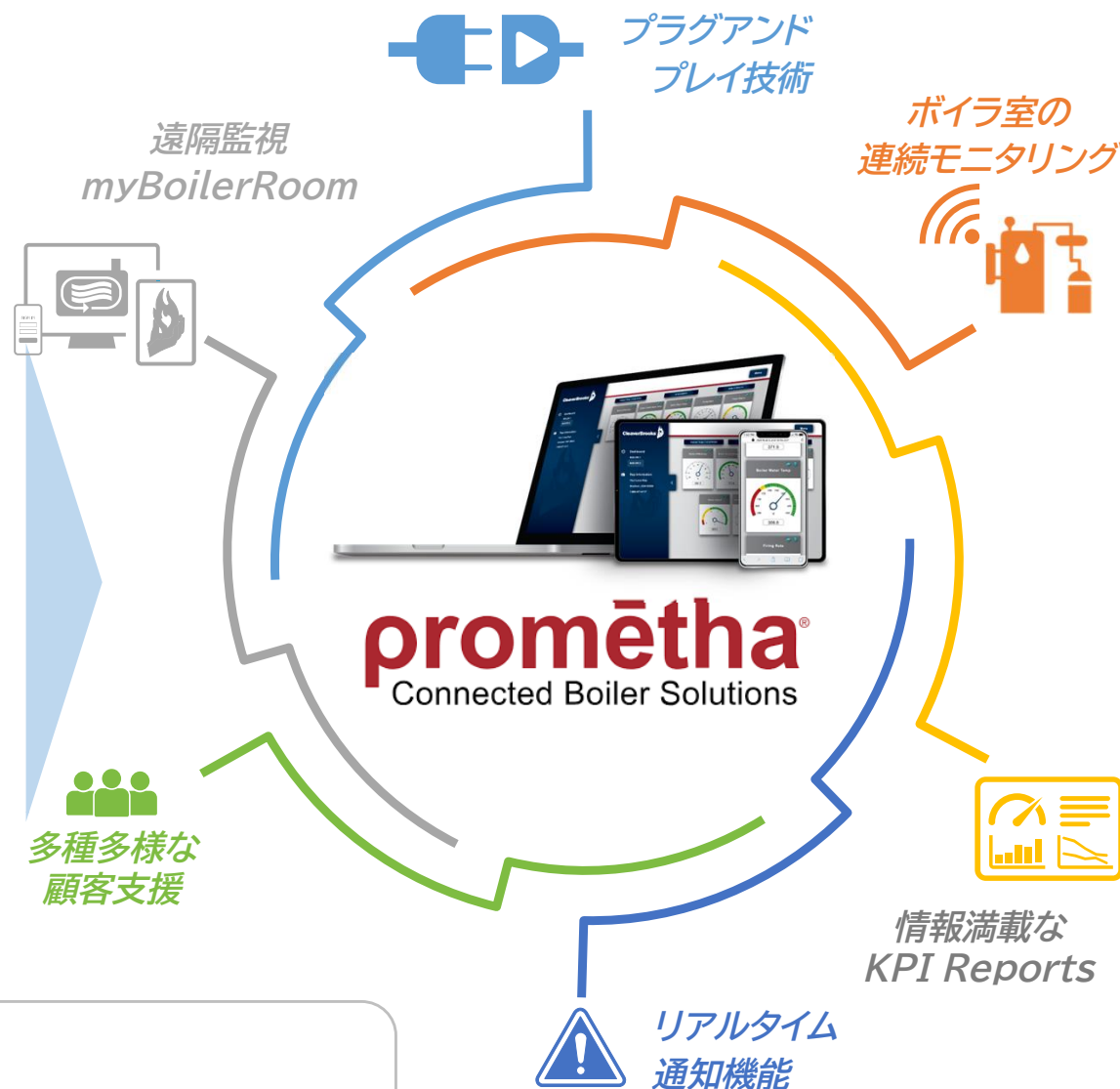
Data Information Knowledge



ユーザーメリット

~30% 修理時間改善率
 ~20% 初回修理完了率向上
 ~30% 平均効率改善
 ~75% 工場停止時間の低減

差別化機能



今、目の前にある需要を取り込みを先行し更なるシェアアップを図り、ミウラグループの製品とノウハウでメンテナンス事業の展開とグリーン化を新たな動きとして**納得感**をもって加速する

1. ボイラ更新需要の着実な取込み

(施策)

- ・高精度の顧客情報管理によるターゲットの効率的な絞込みと営業活動
- ・遠隔監視&分析ソフトによる付加価値の提供
- ・圧倒的な販売網を活用した物件の確保

2. 新製品提供

- ・ヒートポンプや電気ボイラ等のCN製品の現実的な市場投入
- ・C-B製品にマッチした水処理関連商品の市場投入

3. 戦略的M&A

- ・現行販売店網と親和性のある進化
- ・エンジニアリング力強化を目指しての補強

Miura-Cleaver Thermal Institute (2025年4月設立予定)



(主な活動)



各種ボイラの特徴の洗い出しと用途/規模/運用別の最適エンジニアリングの指針創り



世界各国のボイラ関連の法規制対応



地域別のCN化に向けての化石燃料ベースのボイラ代替の熱供給の在り方の検討



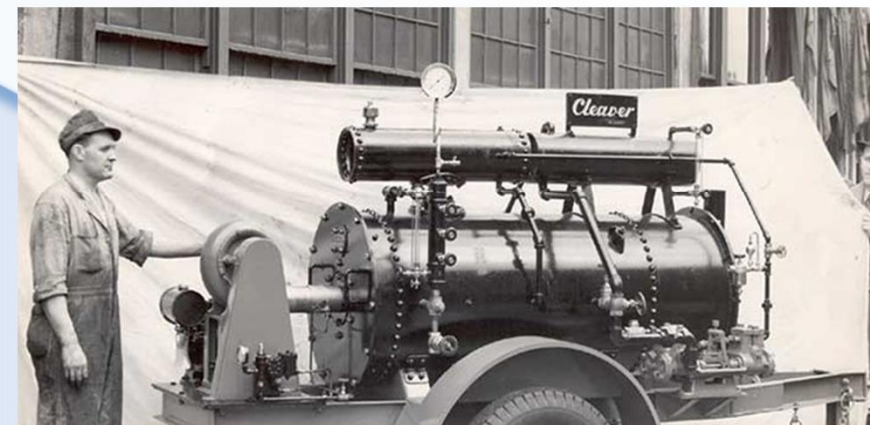
世界の水と様々なボイラタイプ別の水処理対応指針の検討



英語を共通言語として議論の出来る技術者の育成

「情報共有拠点としての機能」

伝統と北米市場での圧倒的な存在感を確立しているCleaver-Brooks社の強さを最大限に活かしつつ、MIURAとのシナジーを創出するには、相互理解と相互尊敬が不可欠。数年間は様々な面においてこの独自性を重んじつつ、グループとして良きモノは共有する土壌づくりを推進する。First Stepとして技術関連の情報共有拠点をCleaver-Brooks社発祥の地、Milwaukeeに設立する。



業績推移および計画

売上高 (\$:Mil)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (予想) 10.5カ月	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
売上高	486	573	534	579	591
営業利益 ※	15	48	67	73	78
営業利益率	3.1%	8.5%	12.6%	12.7%	13.3%
過去M&Aによる 無形資産の償却	(34)	(29)	(11)	(12)	(10)

※ 営業利益は、過去にC-Bが行ったM&Aの「無形資産の償却」を含んだ値を反映しております。
 今回ミウラが行ったC-BのM&Aに係る無形資産の償却に関しては、営業利益に含めておりません。
 PPA(注)の完了後に改めて修正値含めて開示いたします。

(注)PPA(Purchase Price Allocation): M&Aによる取得原価(買収対価)を配分するプロセス

中国概況 UPDATE



中国経済は全体的に下落

上海では1-8月の消費指数は前年同期比3%前後下落

(追い風) 保有水量30L以下の蒸気発生器の監督体制の見直しの実施
→ ミウラ2トン以下のボイラ販売阻害要素の排除

(逆風) 環境規制の厳格化が緩和され、生物燃料焚きボイラの需要が増加
発電所の余剰蒸気の販売が増加

ガス-ガス戦略 (営業力強化)

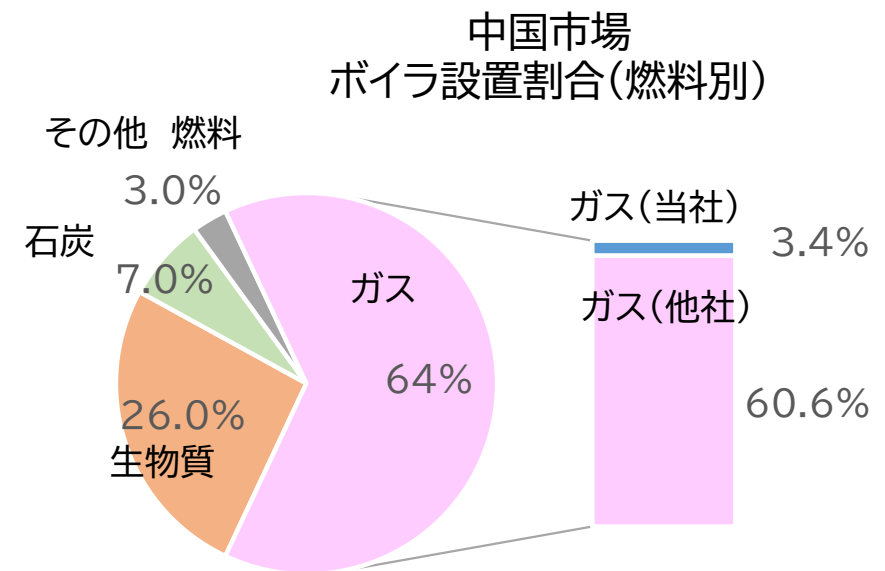
ガス-ガス戦略を進めながら、提案営業で
セット販売(コンプレッサ/ヒートポンプ/空
調)を模索

中国での商品開発

中国市場に適した商品を現地で開発

人的投資

賃金引上げ・ハイスパック人材の採用



* 発電用を除く
* 値は総蒸発量ベース(2024年3月自社調べ)

中期計画 更新(C-B追加)

売上高 (単位:億円)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
米州(C-B含む)	102	114	957	1,037	1,077
韓国	90	113	119	134	145
中国	104	111	113	117	122
欧州(ドイツ・オランダ)	1	1	47	53	56
その他アジア	64	70	83	95	105
海外計	361	409	1,319	1,436	1,505

その技術に、愛はあるか。

その商品に、愛はあるか。

そのサービスに、愛はあるか。

いつも自分に問いかけること。

ミウラは、そうやって生まれてくる。

そのひらめきに、愛はあるか。



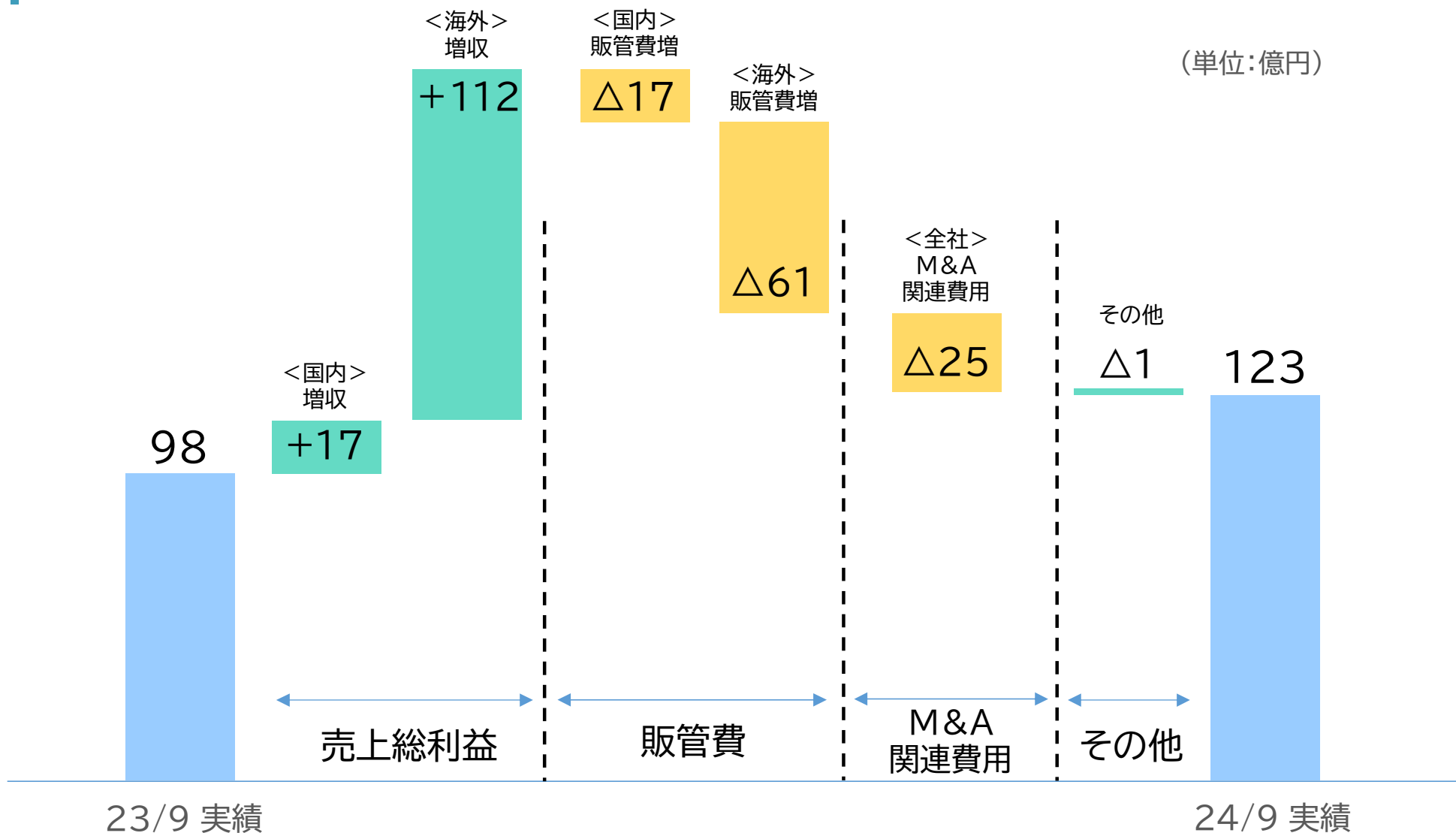
◎ ランドリー事業につきましては、中心となっていたアイナックス稲本株式会社が2024年3月期より持分法適用会社となったことに伴い、次頁以降はアイナックス稲本についての情報を【ご参考】として表示しております。

5. Appendix

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 営業利益増減要因(前年同期差) | 10. 地域別売上収益推移 |
| 2. 2025年3月期第2四半期業績 セグメント別(前年同期比)表 | 11. 連結キャッシュ・フロー計算書 |
| 3. 2025年3月期第2四半期業績 セグメント別(前年同期比) | 12. キャッシュ・フロー推移 |
| 4. 2025年3月期 事業別 売上高(前年同期比) | 13. 設備投資、減価償却費、研究開発費推移 |
| 5. 2025年3月期 海外地域別 売上高(前年同期比) | 14. 為替レート推移 |
| 6. 連結財政状態計算書(バランスシート) | 15. 株主還元 |
| 7. セグメント別売上収益推移 | |
| 8. (国内)事業別売上収益推移 | |
| 9. セグメント利益推移 | |

2024年11月20日

1. 営業利益増減要因(前年同期差)



- ・国内事業は、売上増加、粗利低下、販売費増加。
- ・海外事業は、M&Aによるグループ会社新規連結等により増収。

2. 2025年3月期第2四半期業績 セグメント別(前年同期比)表

(23/9…2024年3月期2Q、24/9…2025年3月期2Q)

単位:億円

単位:億円

単位:%

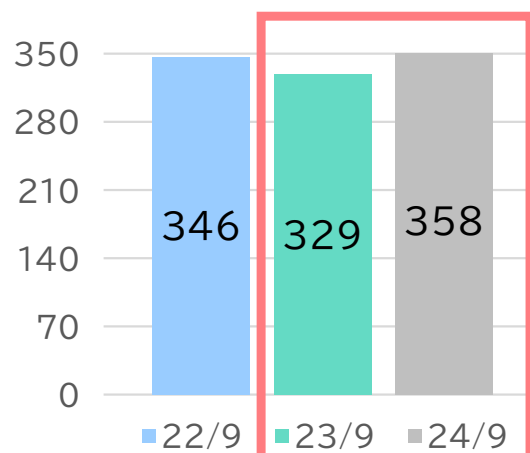
	売上収益				セグメント利益				セグメント利益率			
	23/9	24/9	前年 同期比	2Q 計画	23/9	24/9	前年 同期比	2Q 計画	23/9	24/9	前年 同期比	2Q 計画
国内機器販売	329	358	+29	365	26	21	△5	36	8.1	5.9	△2.2	9.9
国内メンテナンス	198	214	+15	209	56	62	+5	62	28.3	29.1	+0.8	29.7
海外機器販売	120	355	+234	177	10	34	+24	14	8.4	9.8	+1.4	7.9
海外メンテナンス	52	184	+132	56	7	32	+24	8	14.0	17.3	+3.3	14.3
合計	701	1,113	+412	807	99 ※	150 ※	+51	120	14.1 ※	13.5 ※	△0.6	14.9

※従来の営業利益にかわりセグメント利益での表示に変更しております。

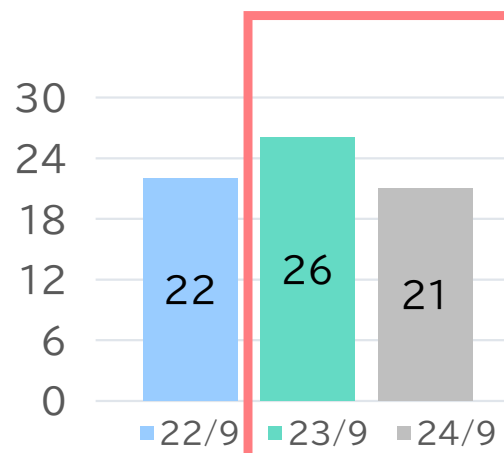
3. 2025年3月期第2四半期業績 セグメント別(前年同期比)

(単位:億円)

【国内機器販売事業】売上収益:前年比 +8.9%、セグメント利益:前年比 △20.6%



売上収益

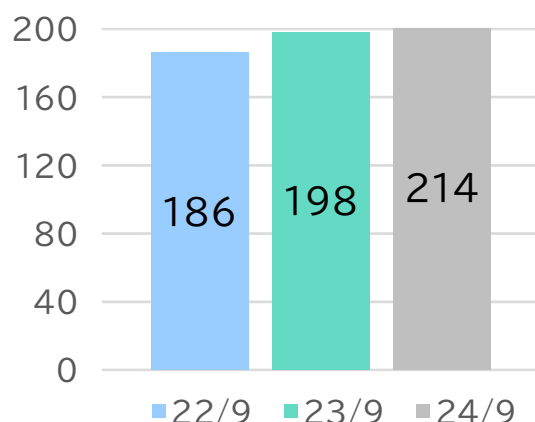


セグメント利益

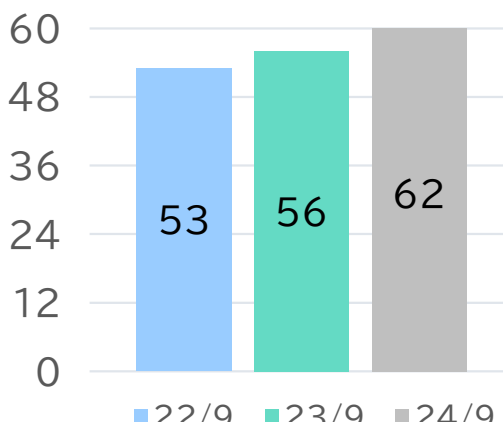
- ・ランドリー機器は前中間連結会計期間に大型案件があった影響もあり売上が減少
- ・一方、食品機械で大型案件の販売があったことや、船用機器やボイラ販売が堅調に推移したことでトータルでは売上が増加
- ・利益は、低粗利案件の影響やフェア開催による販管費の増加で減少

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。それに伴い、2023年3月期第2四半期のセグメントを遡及修正しております。

【国内メンテナンス事業】売上収益:前年比 +8.0%、セグメント利益:前年比 +10.6%



売上収益

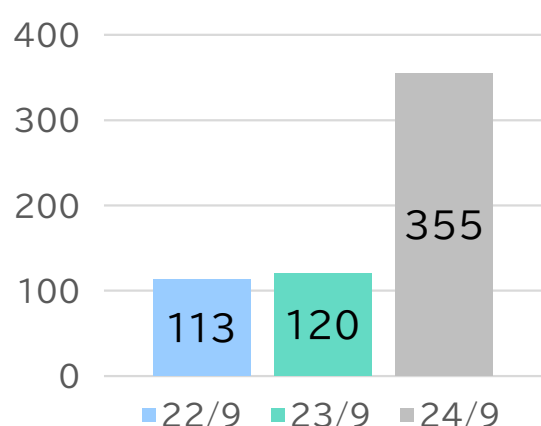


セグメント利益

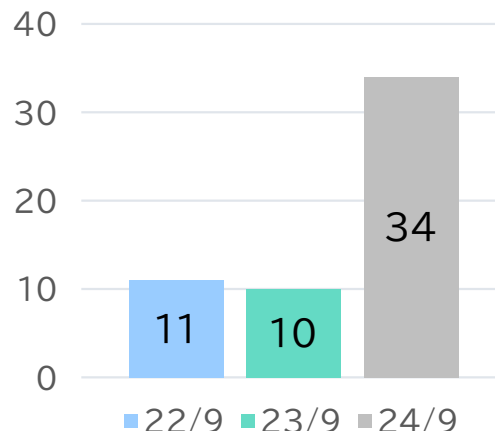
- ・有償保守契約件数の増加や省エネ活動の推進により売上、利益ともに増加

3. 2025年3月期第2四半期業績 セグメント別(前年同期比)

(単位:億円)

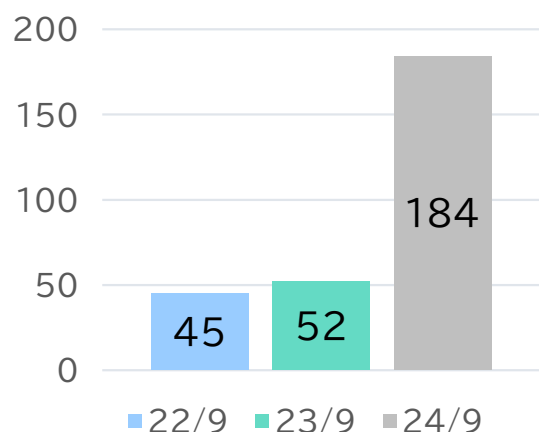
【海外機器販売事業】売上収益:前年比+194.5%、セグメント利益:前年比 +244.7%

売上収益

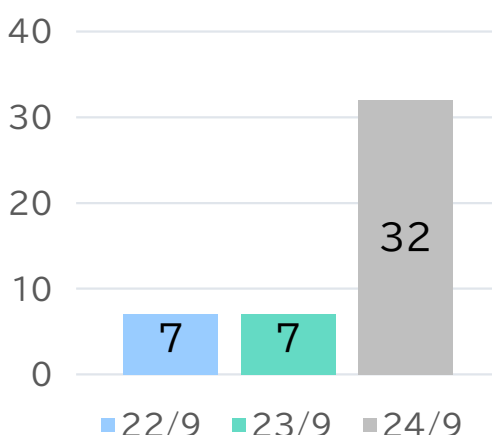


セグメント利益

- ・Cleaver-Brooks社の買収により売上が増加
- ・韓国でのボイラ販売も堅調

【海外メンテナンス事業】売上収益:前年比 +252.1%、セグメント利益:前年比 +335.6%

売上収益



セグメント利益

- ・Cleaver-Brooks社の買収により売上が増加
- ・各国や各地域における有償保守契約件数の増加により売上が増加

4. 2025年3月期 事業別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)

		2023年3月期 2Q(実績)	2024年3月期 2Q(実績)	2025年3月期 2Q(実績)	前年 同期比
国内	ボイラ	296	318	333	+15
	アクア(水処理機器)	33	38	41	+3
	舶用	53	53	66	+13
	食機・メディカル	59	63	80	+17
	ランドリー	—※	—※	—※	—※
	その他 (ランドリー・特機・新事業開発・環境 等)	92※	56※	53※	△3※
	国内 計	533	528	573	+45
【ご参考】 アイナックス稲本含むランドリー		63	102	78	△24

- ・食品機械の大型案件や、舶用機器やボイラの販売が堅調だったことにより
・売上が増加
- ・メンテナンスでは有償保守契約件数の増加や省エネ活動推進により売上が増加

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2023年3月期第2四半期のセグメントを遡及修正しております。

5. 2025年3月期 海外地域別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)

		2023年3月期 2Q (実績)	2024年3月期 2Q (実績)	2025年3月期 2Q (実績)	前年 同期比
海外	米州(アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ)	45	50	375	+325
	韓国	37	43	60	+17
	中国	47	50	49	△1
	その他(ASEANほか)	28	28	55	+27
	海外 計	159	173	539	+366

- ・Cleaver-Brooks社の買収により、売上増加
- ・韓国でのボイラ販売が堅調に推移
- ・各国や各地域での有償保守契約の積極的な提案による契約件数増により売上増加

6. 連結財政状態計算書(バランスシート) (単位: 億円)

	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	前年 同期比
流動資産	1,254	1,714	+459
現金および現金同等物	311	462	+150
営業債権	420	633	+213
その他の金融資産	191	119	△71
棚卸資産	308	449	+140
その他流動資産	23	48	+25
非流動資産	1,010	2,213	+1,203
資産合計	2,265	3,927	+1,662
流動負債	473	1,871	+1,397
営業債務	117	191	+73
その他	356	1,680	+1,323
非流動負債	48	299	+250
負債合計	522	2,170	+1,648
資本合計	1,742	1,757	+14

・(流動資産)Cleaver-Brooks社の買収により、営業債権及びその他の債権、棚卸資産が増加

・(非流動資産)Cleaver-Brooks社の買収によりのれん及び無形資産、使用権資産、有形固定資産が増加

・(流動負債)Cleaver-Brooks社の買収によりその他の金融負債、契約負債、営業債務及びその他の債務が増加

・(非流動負債)Cleaver-Brooks社の買収によりリース負債、その他の金融負債、繰延税金負債が増加

・利益剰余金増加の一方で、その他の資本の構成要素が減少

7. セグメント別売上収益推移

単位: 億円

	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)	2025年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売	264	44	278	42	346 ※	50 ※	329 ※	48 ※	358 ※	32
国内メンテナンス	168	28	180	27	186	27	198	28	214	19
海外機器販売	89	14	100	15	113	16	120	17	355	32
海外メンテナンス	33	5	36	6	45	7	52	7	184	17
ランドリー	58	9	65	10	— ※	— ※	— ※	— ※	— ※	— ※
合計	615	100	662	100	692	100	701	100	1,113	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー	58	—	65	—	63	—	102	—	78	—

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

8. (国内)事業別売上収益推移

単位:億円

(国内) 事業別 売上収益推移	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)	2025年 3月期2Q	構成比 (%)
ボイラ	260	53	295	56	296	56	318	60	333	58
アクア (水処理機器)	26	5	32	6	33	6	38	7	41	7
船用	62	13	44	8	53	10	53	10	66	12
食機・ メディカル	50	10	58	11	59	11	63	12	80	14
ランドリー	58	12	66	13	— ※	— ※	— ※	— ※	— ※	— ※
その他(ランド リー・特機・新事 業・環境等)	35	7	30	6	92 ※	17 ※	56 ※	11 ※	53 ※	9 ※
合計	492	100	525	100	533	100	528	100	573	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー	58	—	65	—	63	—	102	—	78	—

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

9. セグメント利益推移

単位: 億円

	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)	2025年 3月期2Q	構成比 (%)
国内機器販売 (セグメント利益率: %)	16 (5.8)	20	24 (8.4)	27	22 (6.2)	24 ※	26※ (8.0)	26 ※	21 (5.9)	14 ※
国内メンテナンス (セグメント利益率: %)	50 (29.9)	63	50 (28.0)	55	53 (28.6)	57	56 (28.3)	57	62 (29.0)	42
海外機器販売 (セグメント利益率: %)	7 (8.0)	9	8 (8.5)	9	11 (10.4)	12	10 (8.4)	10	34 (9.8)	23
海外メンテナンス (セグメント利益率: %)	6 (17.9)	8	6 (18.0)	7	7 (16.0)	7	7 (14.0)	7	32 (17.3)	21
ランドリー (セグメント利益率: %)	0.1 (0.2)	0	2 (3.5)	2	－※ (－)	－ ※	－※ (－)	－ ※	－※ (－)	－ ※
合計 (セグメント利益率: %)	80 (13.0)	100	92 (14.0)	100	93 (13.5)	100	98 (14.1)	100	150 (13.5)	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含むランドリー (セグメント利益率: %)	0.1 (0.2)	－	2 (3.5)	－	△0.3 (－)	－	11 (10.9)	－	6 (7.8)	－

※セグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2023年3月期第2四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

◎2024年3月期2Q以前は営業利益で表示しておりましたが、2025年3月期2Qよりセグメント利益での表示に変更しております。

10. 地域別売上収益推移

単位: 億円

	2021年 3月期2Q	構成比 (%)	2022年 3月期2Q	構成比 (%)	2023年 3月期2Q	構成比 (%)	2024年 3月期2Q	構成比 (%)	2025年 3月期2Q	構成比 (%)
日本	492	80	524	79	532	77	528	75	573	52
米州	21	3	30	4	45	7	50	7	375	34
韓国	40	7	38	6	37	5	43	6	60	5
中国	46	7	44	7	47	7	50	7	49	4
その他	17	3	24	4	28	4	28	5	55	5
海外合計	124	20	137	21	159	23	173	25	539	48
合計	616	100	662	100	692	100	701	100	1,113	100
【ご参考】 アイナックス稲本 含む国内	492	—	524	—	590	—	606	—	645	—
【ご参考】 アイナックス稲本 含む合計	616	—	662	—	750	—	779	—	1,184	—

11. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2024年 3月期2Q	2025年 3月期2Q	前年 同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	65	84	+19
持分法による投資損益	△10	△13	△2
棚卸資産の増減額	△27	△25	+1
営業債務及びその他の債務の増減額	△6	△28	△21
その他	110	153	+43
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△1,201	△1,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103	1,213	+1,317
自己株式の取得による支出	△54	△0	+54
その他	△49	1,213	+1,262
現金及び現金同等物期首残高	320	372	+52
現金及び現金同等物期末残高	311	462	+150

- ・営業活動では、営業債務及びその他の債務の増減額が減少
- ・投資活動では、子会社又はその他の事業の取得による支出が増加
- ・財務活動では、短期及び長期借入れによる収入が増加

※2024年3月期第3四半期連結会計期間において、持分法適用会社であるJENSEN-GROUP NVにおける持分法適用会社化に係る暫定的な会計処理が確定したため、2024年3月期第2四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

12. キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q
営業活動CF	10,003	7,496	4,058	6,552	8,475
投資活動CF	△6,715	△3,722	△3,558	2,008	△120,118
フリーCF	3,288	3,774	500	8,560	△111,643
財務活動CF	△4,140	△4,141	△4,757	△10,302	121,399

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業活動CF	22,982	19,442	17,844	20,810	—
投資活動CF	△11,073	△14,481	△12,535	△1,270	—
フリーCF	11,909	4,961	5,309	19,540	—
財務活動CF	△7,991	△3,389	△13,766	△15,403	—

13. 設備投資、減価償却費、研究開発費推移

単位:百万円

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q
設備投資(使用権資産除く)	1,701	1,981	1,265	1,291	3,796
減価償却費	3,353	3,410	3,534	3,286	4,174
研究開発費	1,367	1,333	1,391	1,564	1,618

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (計画)
設備投資(使用権資産除く)	3,646	3,847	2,869	3,532	3,971
減価償却費	6,733	6,879	7,033	6,707	8,468
研究開発費	3,165	2,905	3,353	3,211	—

14. 為替レート推移

通貨	平均レート						2025年3月期 計画
	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前2Q増減率 (%)	
USD	106.93	109.81	134.03	141.06	152.78	8.3	153.00
CAD	78.72	88.30	103.84	105.13	111.82	6.4	112.00
ユーロ	—	—	—	—	166.07	—	164.00
元	15.26	16.99	19.89	19.75	21.16	7.1	21.10
NTD	3.61	3.94	4.49	4.53	4.72	4.2	4.70
WON(100W)	8.89	9.65	10.32	10.75	11.21	4.3	11.20
ルピア(100Rp)	0.73	0.77	0.91	0.94	0.96	2.1	0.96
ブラジルリアル	19.91	20.75	26.36	28.75	28.41	△1.2	29.90
メキシコペソ	4.72	5.49	6.66	8.13	8.49	4.4	9.10
タイバーツ	3.38	3.42	3.79	4.05	4.27	5.4	4.10

15. 株主還元

① 安定的な配当の継続

② 25年3月期も増配を計画

23年3月期

中間	19円
期末	26円

合計 45円

24年3月期

中間	23円
期末	30円

合計 53円

25年3月期(計画)

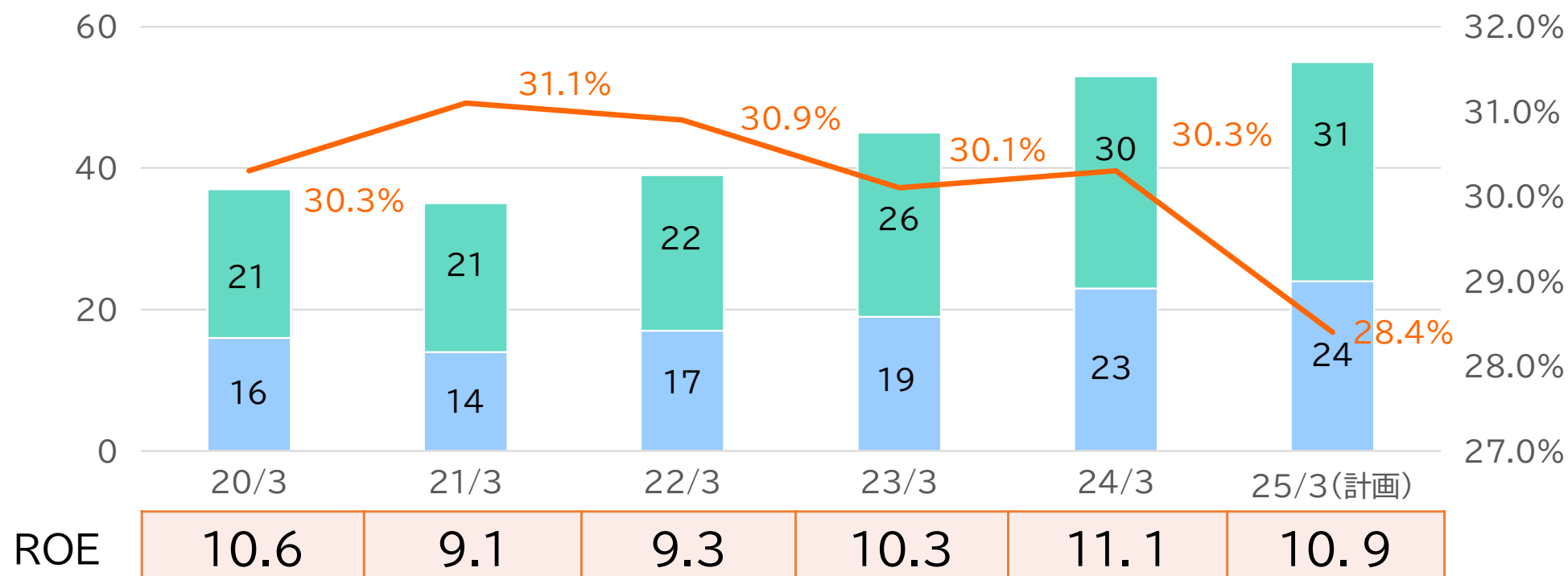
中間	24円
期末	31円

合計 55円

【配当金の推移】

単位:円

■ 中間 ■ 期末 — 配当性向



経営目標 ROE 10%以上維持

【ご参考】発行済株式総数(自己株式除く) 110,289,797株、自己株式数 15,001,315株 (2024年9月30日時点)

※ 25/3(計画)の配当性向については利益予想が未定のため、当初公表した業績予想に基づく暫定値です

熱・水・環境のベストパートナー



お問い合わせ先

三浦工業株式会社 そうごう 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <https://www.miuraz.co.jp/>